

# 男女共同参画社会

## 下野市男女共同参画プラン 市民意識調査結果をお知らせします

### 男女平等意識の高まり

下野市では『下野市男女共同参画プラン』(計画期間：平成20～27年度)に基づいて、男女の自立と共同参画社会の実現に向けた施策を推進しています。

計画策定時(平成19年)に実施した市民意識調査と比較して、市民の皆様の意識がどのように変化しているか、また、計画を受けて実施された市の施策が意識変化にどの程度の影響を与えたかを検証するため、男女共同参画に対するご意見等をお伺いしました。

『下野市男女共同参画プラン』では、3つの基本目標を掲げ事業を推進しています。

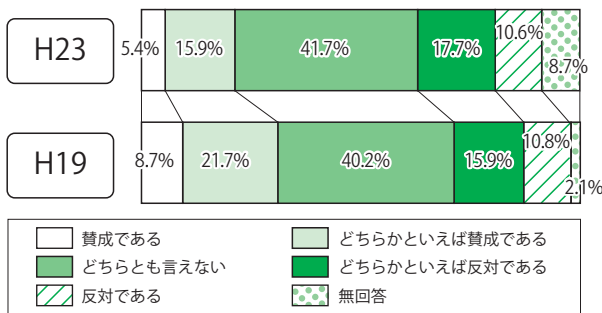
今回は、「基本目標1 互いに思いやる人権の尊重と男女共同参画の意識づくり」における調査結果の一部をお知らせします。

#### 『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』

【賛成】「どちらかといえば賛成」…21.3%

【反対】「どちらかといえば反対」…28.3%

平成19年調査では、賛成が反対を上回っていましたが、今回は逆転した結果となりました。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という固定観念が薄れ、男女共同参画意識が高まっている傾向がみられます。

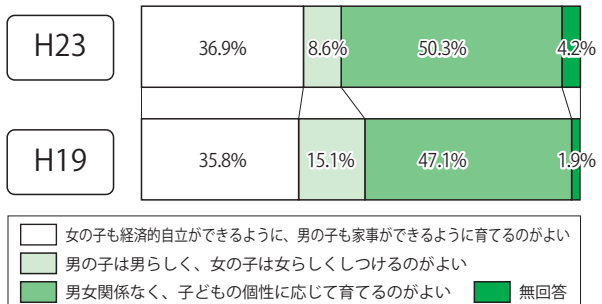


#### 『家庭における子育ての考え方』

【男女関係なく子どもの個性に応じて育てるのがよい】……50.3%

「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というジェンダー意識(\*)をもつ割合は、平成19年調査より低くなり、一人ひとりの個性を重視する男女平等意識が高まってきています。

\*ジェンダー意識とは…社会的・文化的につくられた「男らしさ」「女らしさ」のことをいいます。



#### 調査の概要

##### ● 調査対象

18歳以上の下野市民2,000人 (男性1,000人、女性1,000人)

##### ● 調査方法

郵送による配布・回収

##### ● 調査時期

平成23年9月

##### ● 回収率

35・5%

#### 調査結果より

「夫は外、妻は家庭」という考え方は根強く残っているものの、「賛成」という意見は減少傾向であり、就労形態の変化や厳しい経済状況が、固定的性別役割分担意識の解消に影響を与えていると考えられます。

また、次世代を担う子どもたちに対しては、一人ひとりの持っている能力や個性を發揮できるように、男女平等を推進する学校教育を進めるとともに、啓発活動をさらに推進していきます。

※今後も、基本目標ごとに調査結果をお知らせします。

また、調査結果の詳細をホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.shinotsuke.jp>

#### 問い合わせ先

総合政策課 ☎(40)5550

#### まずは相談

### 太陽光発電の 訪問販売契約に要注意!

訪問販売で、「今だけ」「特別に」「キャンペーン価格」と説明をし、契約を促す業者がいます。

また、「モニター特典」と称し、業者がクレジット代金立替をすることにより安堵感を持たせ、業者がモニター料金を振り込むことを約束していたにも関わらず、業者が倒産に陥り約束内容が守られない。こうした内容は、他人ごとではありません。事業者の説明を鵜呑みにせず、発電量や売電量の情報収集に努めましょう。

#### 下野市消費生活センター

専用ダイヤル ☎(44)4883

国分寺庁舎2階 生活安全課内

#### ● 相談日時

月～金曜日 (土日祝日・年末年始を除く) 午前9時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

#### ● 栃木県消費生活センター

電話相談は土曜日のみ ☎028-625-2227